

## 「音を聴く」ことの教育的意味

鈴木秀樹（慶應義塾幼稚舎）

E-mail [cool@yochisha.keio.ac.jp](mailto:cool@yochisha.keio.ac.jp)

Web <http://sound.dmc.keio.ac.jp/>

Blog <http://web.mac.com/soundx/>

Twitter @soundexplorer

◎Key Words 積極的受動態、感性の醸成、サウンド・エクスプローラ部

### 1. 小学校学習指導要領における「音」

小学校学習指導要領に「音」という漢字は何回出てくるか？

国語	13
社会	0
算数	0
理科	1
生活	1
音楽	120
図画工作	0
家庭	0
体育	1
道徳	0
外国語活動	6
総合的学習の時間	0
特別活動	0

### 2. 慶應義塾幼稚舎サウンド・エクスプローラ部

#### 2.1 概要

2000年に創部。

5・6年生、4～6人の小所帯。

普段は週1回1時間強の活動。

時折、週末に外出（風鈴市等）。

年に3回の宿泊行事。

Podcast、Web等で発信することも。

#### 2.2 普段の活動

ゲームやクイズで音を楽しむ。

校内や学校周辺で、面白い音を探しに行く。

音を聴いて俳句を作る。

#### 2.3 合宿

春と冬に1泊合宿。夏は北海道か沖縄で合宿。

行く先々で出会った音をじっくりと聴く。

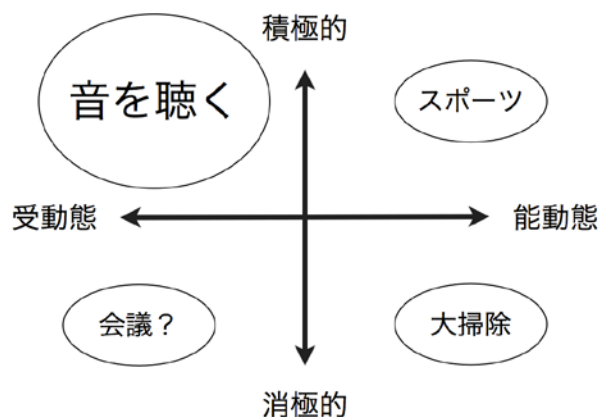
自然の豊かな環境では夜明けの音を。

タイミングが合えば、そうした音を録音。

#### 2.4 大切にしていること

アウトプットよりインプット。

部員の精神状態に気を配り、積極的受動態に誘う。



### 3. 「音を聴く」ことの教育的意味

#### 3.1 感性の醸成

学習指導要領に「感性」という言葉は何回出てくるか？ たった2回。音楽と図画工作の「目標」に出てくるのみ。しかし、感性はどの教科においても必要なものではないのか？

#### 3.2 「音を聴く」ことで醸成される感性

従来の学校教育には馴染みにくいが大切なこと。

#### 3.3 騒音を制御した先にあるもの

騒音は制御した方が良く、ということに異議を唱える子どもは恐らくほとんどいない。だが、騒音を無くした後の世界を子どもたちはイメージできているか？ 「騒音を制御」したとしても、その後の世界は無音ではない。どんな音環境を自分たちは求めているのか？ それを考えていく上で「感性」は欠かせないのではないか？

#### 3.4 騒音制御工学会への期待

例えば、日産リーフのCM “The New BGM”。

#### 参考文献

- (1) 佐藤折, 鈴木秀樹, 鈴木珠奈: “ITが促進する感性の醸成 - 「音を聴く」ことを手がかりとした交流実践”, CIEC 研究会論文誌, vol.1, pp.85-90 (2010).